

# スーパージェットコンクリート・セット ユニット-1 (超速硬ドライモルタル)

## 特 長

- 1) 現場で容易に超速硬モルタルが製造できます。
- 2) 袋数を調整することで必要量の超速硬モルタルが練り混ぜられ、ムダがありません。
- 3) ハンドリングタイムは、ジェットセッターHの添加量を変えるだけで容易に調節できます。
- 4) 3時間で24N/mm<sup>2</sup>以上の強度が得られ、長期にわたり安定した強度増進が期待できます。
- 5) 常温より強度発現がやや遅れますが、低温でも所定強度が得られます。

## 用 途

- ・ 各種緊急工事
- ・ 欠損断面補修
- ・ 床版補修
- ・ 小規模打設



## 配 合 (例)

骨材最大寸法 (mm)	W/C (%)	単体量 (kg/m <sup>3</sup> )				
		セメント	水	細骨材	減水剤	遅延剤
5	37.4	626	234	1381	9.4 *	適宜

\* 液体換算

種類	ユニット-1			水量 <sup>※</sup>
スーパージェットコンクリート・セット ユニット-1	セメント	細骨材	減水剤	練り混ぜ水
重量 (kg)	20			2.2~2.5
練り上がり量 (%)	9.9~10.2			
使用量目安 ( /m <sup>3</sup> )	約 100 袋			220~250kg

※事前に標準練り水量の範囲で施工性に合わせて水量を確認して下さい。  
 ※※ジェットセッターHは、練り水の一部とし、作業性が確保できるように添加量を決めて下さい。

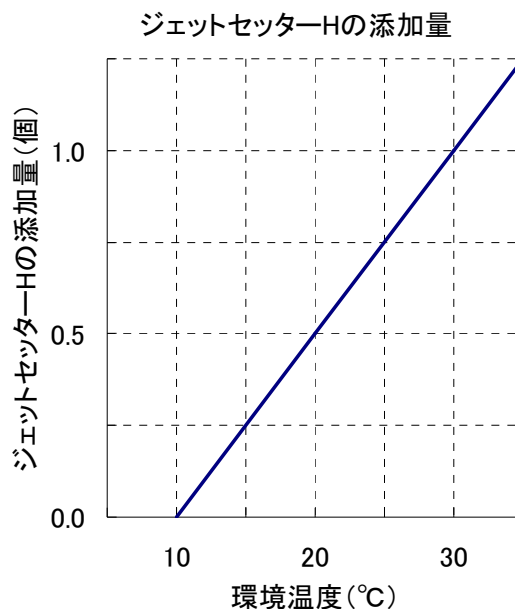
## 物 性 (例)

温度 (°C)	1袋あたりの 練り水量	ジェットセッターHの 添加量	テーブルフロー値 (mm)	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )		
				3時間	6時間	7日
20	2.5 %	0.5 個	254	29.0	34.2	52.5

※上記の数値は、実験室データ例です。可使時間30分

## 使用方法

- ① スーパージェットコンクリート・セットユニット-11袋当たり、**2.2~2.5 %**の標準練り水量※の範囲でご使用ください。
- ② ペール缶等容器に水(遅延剤含む)を入れ、ハンドミキサーで拡販しながらユニット-1を徐々に投入して、3分間混練してください。
- ③ 1袋当たりの練り上がり量は、約 10 %となります  
(1m<sup>3</sup>≒100袋)。
- ④ 練り混ぜには、ハンドミキサーやモルタルミキサーをご使用ください。\*\*\*
- ⑤ 施工性確保は、凝結遅延剤ジェットセッターHの添加量\*\*\*で調整してください。



※標準練り水を超える水量で練り混ぜた場合、材料分離や強度不良の原因となります。

\*\*\*アルミ製の攪拌羽根は異常膨張の原因となるので使用しないでください。

\*\*\*ジェットセッターHは、予め練り水に所定量加え溶かしてご使用ください。



## 荷 姿

スーパージェットコンクリート・セット  
専用遅延剤

ユニット-1      20kg/袋  
ジェットセッターH      30g/袋

### スーパージェットコンクリート・セット ユニット-1の取り扱い注意事項

- 目や皮膚への接触を避けるため、適切な保護具(手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用し、換気に注意して下さい。
- 取扱い後は、顔、手、口等を水洗いして下さい。
- 万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本製品をご使用いただく場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。
- 使用前に当製品の安全データシート(SDS)をお読み下さい。

**小野田ケミコ株式会社**

〒130-0022

東京都墨田区江東橋4-1-1 錦糸町ダイヤビル7F

TEL: 03-5638-8564 FAX: 03-5638-8567

URL: <http://www.chemico.co.jp/>



商品情報はここから